

(2023年 山口県公立入試 類似)

1. 幕領 2. 藩 3. 莊園 4. 領国

(2026年 島根県公立入試 類似)

1. 銀は貴重な軍事機密として厳重に管理され、江戸幕府が成立するまで海外の商人と取引されることはなかった。
2. 大量の銀が海外へ輸出されたことで、16世紀後半には日本の銀が世界の産出量の約3分の1を占めるほどになった。
3. 銀の増産によって日本独自の通貨制度が完成し、中国から輸入されていた銅銭は一切使われなくなった。
4. 生産された銀はすべて国内の寺院や仏像の装飾に費やされ、戦国大名の信仰心を深める役割を果たした。

(2016年 鳥取県公立入試 類似)

1. 別子銅山 2. 石見銀山 3. 佐渡金山 4. 生野銀山

(2016年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|--|
| 1. 家臣を一定の場所に集めて統制し、商工業を振興して領国の経済と軍事を支えるため | 2. 海外との貿易を独占するために、海岸線に面した土地に防衛拠点を築くため | 3. 有力な寺社への参拝客を増やすことで、宗教的な権威を利用して領民を支配するため | 4. 交通の要所に休憩所を設けることで、旅人の利便性を高め、通行税を徴収するため |
|---|---------------------------------------|---|--|

(2026年 岩手県公立入試 類似)

1. 武家諸法度 2. 御成敗式目 3. 分国法 4. 公家諸法度

(2018年 秋田県公立入試 類似)

1. 朝廷から与えられた公家法をそのまま適用し、京都の文化を地方に広めるために制定された。
2. 全国の戦国大名が共通のルールを持つことで、大名間の和平を促進するために制定された。
3. 農民が団結して一揆を起こすことを推奨し、幕府の権威を完全に否定するために制定された。
4. 家臣たちが実力で主君をしのぐ下剋上の動きを抑え、領内の秩序を維持するために制定された。

(2018年 熊本県公立入試 類似)

1. 元軍の侵攻に対し、九州の御家人たちが防戦にあたった。
2. 実力のある下の者が上の者を倒して地位を奪う、下剋上の風潮が広がった。
3. 北条氏が執権の職に就き、幕府の政治を動かした。
4. 将軍と御家人が、土地を媒介とした御恩と奉公の主従関係を結んだ。

(2020年 沖縄県公立入試 類似)

1. ペリー（アメリカ海軍） 2. フランシスコ・ザビエル（イエズス会） 3. マルコ・ポーロ（東インド会社） 4. 鑑真（唐招提寺）

(2026年 高知県公立入試 類似)

1. 幕府に対して借金帳消しを求める徳政一揆へと発展し、全国的徳政令の発令を勝ち取った。
2. 武家諸法度を無視したとして幕府から改易を命じられ、キリシタンを中心とした大規模な反乱が起きた。
3. 有力な国人たちが集まって合議制を敷き、守護大名の立ち入りを8年間にわたって禁じた。
4. 門徒たちが独自の政治体制を築き、「百姓の持ちたる国」と呼ばれるような自治を実現した。

(2026年 島根県公立入試 類似)

1. 武田氏と上杉氏 2. 尼子氏と毛利氏 3. 織田氏と今川氏 4. 島津氏と大友氏

(2025年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 南蛮貿易による利益を得るとともに、軍事的に有利な鉄砲や火薬などの輸入を円滑に進めるため | 2. 室町幕府の将軍から、キリスト教を保護することを条件に領地の支配権を認められたため | 3. キリスト教の教えを広めることで、反抗的な一向一揆などの仏教勢力を抑え込むため | 4. ヨーロッパ諸国の軍隊を日本に呼び寄せ、国内の戦乱を武力で平定させるため |
|--|---|---|--|

(2015年 岡山県公立入試 類似)

1. 今川義元などの戦国大名が分国法を作ったことに対抗し、全国の武士が幕府に対して絶対的な忠誠を誓うための精神的な規範を示す必要があった。
2. 平将門の乱を鎮圧した後に生じた関東地方の混乱を収めるため、貴族の法律である律令を武士にも厳格に適用することを目的とした。
3. 承久の乱のあと、新しく任命された地頭と、貴族などの荘園領主との間で土地をめぐる争いが増えたため、公正な裁判の基準を設ける必要があった。
4. 元寇（モンゴル襲来）による出兵で困窮した御家人の不満を解消するため、借金を無償で帳消しにする徳政令の仕組みを全国に広める必要があった。

(2014年 沖縄県公立入試 類似)

1. スペイン人 2. ポルトガル人 3. オランダ人 4. イギリス人